

春風亭昇太隊長が諏訪原城跡にやってきた。



名刺裏面

隊長名刺

こちら志太平野一帯には歴史に名の残る戦の遺跡が数多くあります。焼津にはヤマトタケルが東国征伐の為に海路を進み、この地に上陸したという遺跡もありますがやはり、戦国時代の合戦場の跡、特に山城跡が戦国ロマンの大好きなマニアの方にはたまらない魅力のようです。

徳川家・武田家・今川家と戦国の三雄がしのぎ争いを繰り返した舞台が数々あり、焼津市には「花沢城跡」、藤枝市には「朝日山城跡」「花倉城跡」「朝比奈城跡」等がありますが、今回は島田市の山城跡の話題です。

今回、山城マニアでも有名な落語家春風亭昇太師匠が島田市菊川にある「諏訪原城跡」をもっとPRしたいという応援隊長に任命され、令和2年9月27日(日)『諏訪原城応援隊結成記念イベント』が二部構成で開催されました。



島田市長と三人の応援隊



幕の合間に笑点の裏話も

第1部は金谷“夢づくり会館”において、「諏訪原城応援隊就任式」と「染谷島田市長×応援隊による対談」が行われ、10倍以上の競争率の中を勝ちとった島田市民が参加しました。昭和50(1975)年に国指定の文化財(史跡)に選ばれ、平成29(2017)年には「続日本100名城」に選定された諏訪原城の魅力の数々をお話されました。



[諏訪原城跡を熱く語る](#)

「小学生の頃、自分の家の住所の“二の丸町”ってなんなの？って疑問に思って調べてみたら、ここが戦国時代の「江尻城」の二の丸跡とわかって、それから歴史や城に興味を持ち始め、高校時代には金谷駅まで来て、この諏訪原城にも登っていた」という旧清水市出身の昇太師匠の話は、大変興味深く、子供の頃疑問に感じた事をずっと追いつけている。人生ってなんてファンタスティックなんでしょう。

午後からは会場を諏訪原城跡に移し、第2部イベント「諏訪原城見どころポイントツアー」が始まりました。



[この装束全部自前なんです！](#)

武田家の守護神「諏訪大明神」を祀ったことが名前の由来と言われている諏訪原城は、武田流築城を駆使した壮大な山城です。徳川家康によって攻め落とされましたが、その自然を巧みに利用した三日月堀や丸馬出しなど、「甲州流築城法の典型」といわれる遺構をひとつずつ解説して下さる諏訪原城応援隊の加藤理文副隊長(公益財団法人日本城郭協会理事)と、自前の装束で足軽姿に身を固めた昇太隊長との絶妙なコンビで、二時間弱の城跡巡りがあっという間に終了しました。



[さあこれから戦国時代にタイムスリップを](#)



[ここが諏訪原城の凄いところ！](#)

最後に、全員で上空からのドローン撮影があり、自分たちが映画撮影の足軽兵のエキストラにでもなったようでした。



[この縄張で敵を翻弄させるんです！](#)



[「健康いきいき」HPの為にポーズしてくれた昇太隊長。](#)

帰り道、道端のあちこちに咲く真っ赤な彼岸花が、今は亡きいにしえ人を見守っているようでした。

山城や つわもの慰う 曼殊沙華 かつみ

□「諏訪原城跡」についての詳細は・・・

「島田市博物館 諏訪原城跡」で検索してください。

<https://www.city.shimada.shizuoka.jp/shimahaku/docs/kuni-01.html>

又は、諏訪原城ビジターセンター TEL 0547-36-7967
島田市観光協会 TEL 0547-46-2844

□島田市のビッグトピックス『KADODE OOIGAWA』（かどでおおいがわ）が今秋誕生！

今秋、島田市の新東名島田金谷IC周辺に日本最大級のマルシェ施設、子供の遊び場、お茶を気軽に楽しめるカフェ、大井川流域の新鮮な野菜が楽しめるレストラン、復元展示予定のSL等、家族がゆっくり1日楽しめる交流拠点「KADODE OOIGAWA」の開業が11月12日（木）に決定しました。

詳細は・・・ <https://kadode-ooigawa.jp/>

取材：志太・榛北地区担当 生きがい特派員 宮島克実